

造影 CT 検査を受けられる患者さまで、 糖尿病薬を服用している方について

糖尿病薬のうち、ビグアイド系の糖尿病薬を服用している場合、頻度としてはまれですが、造影 CT 検査後に、乳酸アシドーシスという副作用が起こることがあります。

乳酸アシドーシスとは、初期症状として食欲不振、嘔気・嘔吐、腹痛、下痢などの胃腸症状が急激に出現し、進行すると倦怠感、筋肉痛・痙攣、脱力感、腰痛、胸痛、過呼吸、脱水、低血圧などを引き起こし、昏睡状態に陥ることもあります。

万一の副作用を防止するために、ビグアイド系の糖尿病薬を服用している方は、造影 CT 検査前 48 時間と、造影検査後 48 時間はビグアイド系の糖尿病薬の服用を中止することが推奨されております。

造影剤の添付文書の内容が禁忌から併用注意に変更になりましたので主治医の判断で休薬して頂き、患者さまへご説明ください。

造影 CT を受けられる方へは

「ヨード造影剤使用検査（造影 CT、尿路造影）に関する説明書」
にあります問診表と同意書を記入の上、必ずご持参きますよう
お伝えください。

相模原協同病院 地域連携室
電話 042-713-1531（直通）